

I 事業期間

2020年4月1日 ~ 2021年3月31日

II 事業の成果

今年度は、2020年3月から新型コロナウイルス感染拡大により、大阪府内の小・中・高等学校が休校措置になり、大阪府教育委員会からの10年続けた委託事業である大阪府日本語教育学校支援事業（ピアにほんご）と池田市教育委員会からの2年目の委託事業である池田市在住外国人日本語指導事業は、6月1日からの学校開業に合わせての変則的事业運営になった。ピアにほんごは10年度目を終了し、事業対象の府立高校のみならず、相談業務を通して小中学校、国際交流協会、自治体との信頼関係の構築を進めている。池田市在日外国人日本語指導支援事業は、昨年度より予算も微増だが、増額されて、教育委員会、関係する学校からの信頼を構築しながら、幼稚園、小・中学校の日本語指導の必要な園児・児童・生徒の教育支援をおこなっている。

2020年度は、新型コロナウイルス感染に翻弄された年度になり、訪日観光客の激減、集客をともなう活動の自粛により、絵本を仲立ちとする多文化共生教育活動、高校生の通訳ボランティア活動、研修会などを実施することができなかった。

NPO法人を設立して10年が過ぎ、NPO法人おおさかこども多文化センター（以下オコタック）としての知名度も上がり着実に実績作りがなされてきたが、当分は新型コロナウイルス感染防止のために、オコタックの活動の見直しを検討せざるを得ないのは非常に残念である。

ボランティアによる外国につながる子どもの居場所づくりと学習支援教室「サタデークラス」活動を、オンラインや対面での支援体制で継続して実施した。支援の結果、高校受験生は公立・私立とも希望校に合格できた。また、昨年に続き外国につながる子どもへの高校進学を応援する「Tabunka Juku（たぶんかじゅく）」を開講し、中国、ネパールルーツの生徒が、大阪府の日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜を受験し合格できた。（財）H2O サンタプロジェクトから寄付をいただき、オコタックの活動を実施するための運営経費に活用。年度途中で、緊急の事業として「特別定額給付金を活用した外国につながる子ども支援キャンペーン」を実施し、オコタック内の事業を含め外国につながる子どもへの支援活動への寄付を募り、多くの方から協力を得た。他団体との連携として、国立大学法人大阪大学大学院人間科学研究科・人間科学部と、日本語指導が必要な児童・生徒のための遠隔支援に関する実証実験を行った。

III 事業の実施状況

I 特定非営利活動に関わる事業

(1) (事業名) 大阪府日本語教育学校支援事業「ピアにほんご」（大阪府教育委員会委託事業）

(内容) 大阪府立高校に学ぶ日本語指導の必要な生徒のための教育支援事業。

教育サポーター派遣、保護者懇談通訳派遣、日本語教育教材、資料の紹介や情報提供、相談員による相談業務・生活オリエンテーション・教育サポーターの交流会の実施。

(実施期間) 2020年4月 ~ 2021年3月

(事業の対象者) 各府立高校

(収入) 7,654,000円

(支出) 7,657,401円

(2) (事業名) 池田市在日外国人日本語指導支援事業（池田市教育委員会委託事業）

(内容) 池田市立小学校3校に日本語専門講師と大阪大学で日本語専攻している学生のアシスタントを派遣して、日本語指導を行った。同時に、児童の母語ができるサポーターを学校に派遣。池田市立さくら幼稚園に母語サポーターを派遣。入学・入園、編入手続き、保護者懇談などで通訳派遣。池田市の学校、幼稚園のお便り文書・説明会等の資料の翻訳（英語、インドネシア語）や新たにベトナム語の受け入れ資料を作成。

(実施期間) 2020年4月 ~ 2021年3月

(収入) 3,570,000円

(支出) 3,570,000円

(3) (事業名) 講師・通訳派遣事業および翻訳事業

(内容) 研修講座の講師、通訳、非常勤講師など、当 NPO が推薦する人材を、自治体、国際交流協会、小・中・高校等に紹介した。また、翻訳事業を行った。

(事業の対象者) 大阪府教育委員会、大阪府内市町村教育委員会、各地国際交流協会、大阪府立高校、府内小・中学校、(株)Kサポート、等

(収入) 649,074円

(支出) 340,180円

(4) (事業名) ヒューライツ大阪との共催事業 外国にルーツを持つ子どもたちの教育課題を考える研修会

(内容) 外国にルーツを持つ子どもの教育保障を考える

～可児市における不就学ゼロをめざす取り組みを例に～

(実施日) 12月19日(土) 14:00~16:00 Zoom オンライン

(講師) 小島 祥美さん(東京外国語大学 世界言語社会教育センター／多言語多文化センター准教授)

(収入) 0円

(支出) 0円

(5) (事業名) 文献・資料の収集と公開、及びリソースセンターとしての環境整備と教育相談

(内容) 外国にルーツをもつ子どもたちの教育支援・多文化社会の実現に役に立つ資料・教材や、多言語の絵本を含む文献を収集して、公開するように整備中。

大阪府内の教育委員会、学校、行政機関、地域の支援者、外国人保護者、大学研究者などから外国にルーツをもつ子どもの教育相談に対応。(相談件数 約230件)

(2016年度より大阪府人権協会の相談登録メンバー)

(収入) 0円

(支出) 0円

(6) (事業名) サタデークラスの運営 (寄付、こども参加費一人年間1,000円(コロナ下で休止やオンライン等で例年の半額とした)、大和証券助成金(前年度からの繰り越し分)、および麒麟福祉財団助成金)

(内容) 大阪市内外の外国につながる多文化な子どもたちに居場所と学習支援の場を提供した。4~5月は新型コロナウイルス関連で緊急事態宣言発出を受け、オンラインによる活動とした。その後も借用会場の閉鎖が相次ぎ、オンラインと教室での対面支援併用となった。オンライン対応が続き、事前に子どもとボランティアが教材共有する形が定着した。ボランティア体験説明会には、ほぼ毎回参加者があったがイベント開催はできなかった。ホームページ、facebook、新規作成のパンフレット等により情報発信を行った。

(実施期間) 2020年4月~2021年3月 毎週土曜日の午後 (4月5月はオンライン支援のみ、その他はオンラインと教室での支援)

(事業の対象者) 大阪市内外在住の外国につながる6歳から18歳までの子どもたち

(収入) 542,501円

(支出) 429,235円

(7) (事業名) Tabunka Juku(たぶんかじゅく)(大阪市塾代助成事業交付金、(一財)教職員生涯福祉財団奨励金、寄付)

(内容) 4,5月は緊急事態宣言下での中学校の休校を受け、オンラインによる授業、6月から学校再開と共に対面授業を行った。中国、ネパールルーツの生徒に毎週定期的に英語/数学の教科学習指導を行い、努力の結果志望校合格が得られた。前年度実施の四ツ橋校は、その役割を終了。この「Tabunka Juku(たぶんかじゅく)」も2021年3月末で事業を終了した。

(注:関連教室 Tabunka Juku “Animo” (たぶんかじゅく「アニモ」)は、2019年11月以降、「西淀川インターナショナルコミュニティー」が事業主となり活動継続している。)

(実施期間) 2020年4月~2021年3月

(事業の対象者) 大阪市内外に在住する外国につながる子ども

(収入) 449,100円

(支出) 424,140円

(8)(事業名) 「子どもの夢応援ネットワーク」事業

(内容) 子どもの夢応援ネットワーク ともにいきるシンポ Part4

~外国につながる若者の支援を 実践・実績から学ぶ~

(講師) ・堀 永乃さん (一般社団法人グローバル人材サポート浜松代表)

・田中 宝紀さん (NPO 法人青少年自立援助センター)

・高橋 清樹さん (NPO 法人多文化共生教育ネットワークかながわ)

(日時) 3日14日(日)13:30~16:30 Zoom オンライン

(収入) 0円

(支出) 0円

(9)(事業名) 外国人のための教育相談会 (大阪府国際交流財団(OFIX)と共催)

(内容) 外国人のための教育相談会を実施 通訳付き (英語、中国語、ベトナム語、ネパール語)

(日時) 3月13日(土) 13:00~16:00

(場所) マイドームおおさか

(収入) 40,000円

(支出) 15,000円

(10)(事業名) 情報発信

(内容) ホームページや、Facebookなど SNS の活用により情報発信を充実させた。

(収入) 0円

(支出) 0円

(11)(事業名) 企業・関連団体との連携と、NPO「おおさかこども多文化センター」としての実績作り

(内容) 国立大学法人大阪大学大学院人間科学研究科・人間科学部と大阪大学オムニサイト締結して、日本語指導が必要な児童・生徒のための遠隔支援に関する実証実験(天満夜間中学)をおこなった。

(財)H2O サンタプロジェクトを通じて、オコタックの広報、寄付金の配分をいただいた。

(収入) 900,000円 + H2O サンタプロジェクトからの寄付 199,120円

(支出) 403,820円

(12)(事業名) 「特別定額給付金を活用した外国につながる子ども支援キャンペーン」

(内容) 2020年、国の施策で配布された特別定額給付金を外国につながる子どもの支援に活用する目的としてオコタック活動に関わる方々に6月30日から10月末日まで標記キャンペーンを訴えた。

多くの方々からの寄付金を以下のように活用した。

西淀川インターナショナルコミュニティー事業(NIC)へ

学習支援教室(小学生対象)「きらきら」

学習支援教室(中学生対象)「たぶんかじゅく アニモ」

NPO法人おおさかこども多文化センター事業へ

学習支援教室「サタデークラス」

(収入) 338,000円

(支出) 164,000円 (※残額174,000円は、次年度以降、オコタック「外国につながる子ども支援基金(ころち

ゃん基金)設立準備事業」に充てるものとする。)

2 その他の事業

2020年度は実施していません。

IV 会員総会の開催状況

第10回通常総会

(日 時) 5月30(土) 10:10~10:40

(場 所) ヒューライツ大阪 セミナー室

(社員総数) 77名

(出席者数) 57名(うち委任状出席者数50名)

(内 容) 2019年度事業報告、決算報告、監査報告等
新たな監査の選任、2020年度事業計画、予算等
以上のすべての案件が原案通り可決された。

V 理事会その他の役員会の開催

理事会及び臨時理事会 開催回数 3回: 5月27日、7月2日、3月23日